



# つかさ会 会報

Vol. 55

2010. 11 月発行  
つかさ会事務局



つかさ会会員の皆様、こんにちは。

先日の岐阜県支部主催ウォークラリーは、危ぶまれていた天候も何とか雨にならず、皆さんで安全にウォーキングを楽しみました。つかさ会からは、3チーム（患者さん14名、スタッフ10名）でエントリーして、3位入賞とブービー賞を頂きました。今年参加できなかった方々も来年はぜひ如何でしょうか、楽しいですよ～。

皆さんが加入している《日本糖尿病協会》は会員数10万人と大きな団体です。これとは別に《日本糖尿病学会》という我々専門医が所属し、医学の進歩に貢献している学会があります。全国レベルの総会は年1回ですが、それぞれの地方でも地方会が開催されています。岐阜県では5年ぶりに《日本糖尿病学会中部地方会》が、今週土曜日（10月30日）にJR岐阜駅隣のじゅうろくプラザにて開催されます。特別講演2題、一般演題89題です。医療関係者の参加がほとんどですが、一般の方が参加されても構わないです。参加費1,000円ですが、12時までにはいらしていただければ、1,500円のお弁当が無料配布されます（のでお得です）。どのような発表があるのか、学会ってどんなところなのか、興味がある方はどうぞ。



今月号の『さかえ』では、“足のケアをしよう！（P9）”をご覧ください。執筆された新城先生のフットケア外来を直接みさせて頂いた事があるのですが、妥協なしの真剣外来でした。足を切断する事になったら…とても恐ろしい事ですね。セルフチェック・セルフケアでおおよそ防ぐ事が出来る合併症ですから、熟読されると良いと思います。

インスリン療法をされている方は、“糖尿病物語（P28）”は是非読んでください。インスリンの種類によっては、「中止してはいけない」インスリンがあります。

“インフルエンザ対策（P36）”、今年は昨年のような「ワクチン不足」の混乱はなさそうです。近くのクリニックで予約が始まっていると思いますので、この記事を読まれた上で接種を検討される事をお勧めします。

1型糖尿病の方は、“楽しむチカラ（P49）”と“志を以って（P53）”は、如何でしょうか。患者さん同士の友の会活動は、「傷のなめ合い」と思われる方もおられます。また病気を再認識するのが嫌で敬遠される方もいらっしゃいます。しかし情報交換の場、日々の不安点の解消など、良い事も隠れているかもしれませんよ。

